

## コロナウイルス感染防止マニュアル

### (入館)

1. 来場者全てに、自己健康チェックシートを記入し提出を義務付けます。  
**※チェックシートは所属毎にまとめて提出して下さい。**
2. 出かける前に家庭での検温後、自己健康チェックシートに記入し受付スタッフに提出して下さい。尚、入場前に再度検温を行います。  
37.5℃以上ある方は、自宅待機し、ご来場はご遠慮下さい。  
※自己健康チェックシートは大会終了後、約1ヶ月間主催側で保管します。  
(破棄については、個人情報保護法により厳重に処理します)  
**※チェックシートは会場にはありません。忘れると入場・参加ができませんので必ず忘れないようお願い致します。**
3. 体育館入場時にマスク着用をスタッフがチェックします。  
※マスク未着用者は、入場をお断わりする場合があります。但し、体質的にマスク着用が困難な人は、フェイスシールド等の代替品を着用して下さい。
4. 体育館入場口に消毒液を設置します。スタッフが消毒を呼びかけます。  
※消毒されない方は、入館をお断わりします、スタッフが監視します。
5. 自己健康チェックシートに問題なし！の人のみ入場を許可します。  
※37.5℃以上の発熱・倦怠感等の体調不良者は入場不可とします。

### (観客席)

1. 観客席は、隣の席と1席空けます。
2. 着席不可または、それに類似した表示を座席に貼り付けます。
  - ①観客席は飲食以外は、マスク着用とします。
  - ②声を出しての応援は禁止します。拍手は可とします。
  - ③今回は菓子類は持ち込まないようにして下さい。
  - ④ゲーム機類の持ち込み禁止。競技見学に集中させて下さい。
  - ⑤大声での会話禁止。原則、必要以外の会話禁止。
  - ⑥マスクを外しての会話禁止。
  - ⑦食事中の会話禁止。
  - ⑧個人的に消毒液・除菌シートを持参し、こまめに手の消毒をして下さい。

### (アリーナ)

1. 出場拳士はアリーナ前に集合・コート毎に整列を行い、「アリーナ正面入口」より入場します。  
※アリーナ前に集合する時は、外したマスクを入れるビニール袋か清潔なタオルを持参して下さい。 ※演武時はマスクを外し、それ以外はマスク着用して下さい。  
**忘れた場合は、アリーナへの入場ができません。**
2. 退場は「アリーナ正面出口」より行います。
3. アリーナ入場・退場時は、間隔を保って担当役員の指示に従って下さい。
4. アリーナで待機する場合は、1m以上間隔を空けます。
  - ①待機中はマスク着用。
  - ②必要以外の会話禁止。
  - ③声を出しての応援禁止
  - ④軽いストレッチ可。練習は不可。

- ⑤周りとの接触を避ける。
- ⑥名前を呼ばれたら返事をせず、手を挙げて下さい。
- ⑦審判員の指示に従って下さい。

5. マスクの着用と気合について

- (1) 競技中のマスク着用なし。
- (2) 競技終了後、速やかにマスクを着用し待機場所に戻ります。
- (3) 原則、気合はなし！とする。但し、気合が出た場合でも減点なしとする。

6. 審判員・コート係は全員マスクを着用し、拳士との間隔を空けます。

7. アリーナの扉は全開として換気します。

8. 審判席の机・椅子・筆記用具・備品はラウンド毎に消毒します。

9. 館内全体(アリーナ・地下卓球場・柔剣道場、1階と2階フロア等)で練習することは、禁止とします。

(共通)

1. ソーシャルディスタンス・マスク着用・手洗い・手の消毒を徹底して下さい。

2. 3密にならないよう放送で定期的に注意を促します。

3. 備品(机・椅子など)は使用前・使用後は消毒します。

4. 会議室の机・椅子は使用前・使用後は消毒します。窓を開けて換気します。

5. スタッフは、全員マスク着用を徹底します。

6. 極力、公共交通機関は使わず、貸切バス・乗用車相乗りを利用する。(車内を換気する)

7. 救護班には川崎医科大学少林寺拳法部OBドクターを配置します。

8. 体育館入場について

①拳士・保護者・一般の方は西側階段(道路側)より入場して下さい。

②来賓・役員・審判の先生方は、体育館正面玄関(1階)より入場して下さい。

※上記2個所以外は閉鎖します。

**3密を避けよう！  
マスクはワクチン！  
終日マスク着用！**